

高可用性ソフトウェアや豊富なミドルウェアと密に連携。 フレキシブルなオープンシステムがビジネスの成長を促します。

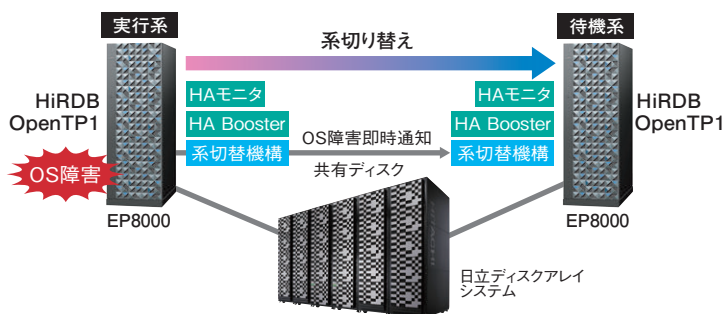
大規模、高信頼、高可用性UNIXシステムを実現

- ノンストップデータベース「HiRDB」や分散トランザクションマネージャ「OpenTP1」などの日立オープンミドルウェア、およびHAクラスタ管理ソフトウェア「HAモニタ」との連携により、クラスタシステムのホットスタンバイ方式による高速な系切り替えを実現。系切り替えとしては、自動切り替え、計画切り替え、連動切り替えの3種類を提供し、柔軟な運用が可能です。さらに、日立の独自機能として開発されたAIX®拡張機能「HA Booster Pack for AIX」と組み合わせることにより、最短で10数秒という世界最高水準の系切り替え処理の高速化を実現します。
- 高可用性ソフトウェア「PowerHA SystemMirror*」を提供し、システムとアプリケーションのフェイルオーバーが可能でクラスタ構成を支援します。また、ハードウェアの障害時における故障箇所の発見や利用可能な資源の動的再構成、障害予防、ログ機能などにより、多様な環境にも柔軟に対応することができます。

*HACMP (High Availability Clustering Multi Processing) およびPowerHA for AIXは、V6.1からPowerHA SystemMirrorに名称変更しました。

高可用性クラスタ構成

- 系切替機構を介したOS障害発生即時通知を実現。
- 共有ディスク数に依存しない安定した高速ディスク切り替え時間を確保。
- ホットスタンバイ環境における10数秒の高速な系切り替えを実現。



※本製品には、有寿命部品 (HDD など) が使用されています。長期間使用する場合には、定期的な保守による部品交換が必要になります。詳細については下記「製品情報サイト」をご覧ください。
 ※本製品のハードウェア保守サービス期限は、製品納入時期より5年間です。
 ※本製品は日本国内仕様であり、当社では海外での保守サービスおよび技術サポートは行っていません。

- ・IBM, AIX, DataStage, Power, PowerHA, SystemMirrorは、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
- ・Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Oracle®, Java及びMySQLは、Oracle, その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・SAPは、ドイツおよびその他の国におけるSAP SEまたはその関連会社の商標または登録商標です。
- ・UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。



⚠ 安全に関するご注意

ご使用前に必ず製品添付のマニュアルなどの注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。また、製品写真は出荷時のものと異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト
<https://www.hitachi.co.jp/EP8000/>
- インターネットでのお問い合わせ
<https://www.hitachi.co.jp/EP8000-inq/>
- 電話でのお問い合わせはHCAセンターへ
☎ 0120-2580-12 受付時間 9:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

📍 株式会社 日立製作所 クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット

エンタープライズサーバ EP8000シリーズ

HITACHI
Inspire the Next

Linux®アプリケーションの利用、開発が可能

- LinuxアプリケーションをAIX®上に移植するためのLinux APIなど親和性の高い環境の提供により、AIX®とLinuxとの統合が可能です。
- GNU/Linuxツール、ユーティリティなどLinuxの多様なツールを活用したアプリケーション開発も可能です。

多彩なソフトウェア製品に対応

基幹システムで実績のある日立オープンミドルウェアに加えて著名ISV製品にも対応。幅広いニーズにこたえるシステムを構築します。

ハイアベイラビリティ	HAモニタ, Hitachi HA Booster Pack for AIX, PowerHA SystemMirror
統合システム運用管理	JP1
SOA基盤/AP基盤	Cosminexus, OpenTP1, TPBroker
DBMS/周辺ソフトウェア	Oracle, HiRDB, DABroker, DBPARTNER2, DataStage®
言語	XL C for AIX, XL C/C++ for AIX, XL Fortran for AIX, COBOL2002
ユーティリティ	ISAM/SORT
開発環境	XMAP3, EUR (帳票出力製品)
文書管理	DocumentBroker



Open & Mission Critical

ENTERPRISE SERVER EP8000SERIES



ひとクラス上の信頼性とオープン性を兼ね備えた情報システムで、ビジネスを新たなステージへ。

企業のコアビジネスを支えるシステムには、業務を止めないための高い信頼性とビジネスの変化に柔軟に対応できるオープン性が求められています。

UNIXサーバ「EP8000シリーズ」は次世代チップテクノロジーをはじめ、ハードウェア・ソフトウェアの両面でサポートする多彩な高信頼化機能、各種サポートサービスなどにより、信頼性とオープン性の両立を高いレベルで実現。進化し続けるEP8000シリーズが、オープンプラットフォーム環境でのミッションクリティカルシステムを支えます。

高い処理性能とメインフレームクラスの信頼性

世界最高クラスの処理性能を実現する高性能Power®プロセッサを搭載。また、高信頼化機能を実装したUNIXオペレーティングシステムAIX®や高可用性ソフトウェアなどにより、ミッションクリティカルな業務システムをメインフレームクラスの信頼性と可用性で支えます。

スケーラブルなモデルラインアップ

最小4コアのエントリーモデルから、最大48コアのミッドレンジモデルまで、スケーラブルにラインアップ。利用形態や必要な処理性能に応じて適切なモデルをお選びいただけます。

多彩なソフトウェアに対応

統合システム運用管理ソフトウェアとして高い評価を得ている「JP1」を始めとする日立オープンミドルウェアに対応しています。そのほか、Oracle社のDBMS製品や、SAP社のERP製品など豊富なISV製品にも対応しています。

DBMS : DataBase Management System
ERP : Enterprise Resource Planning
ISV : Independent Software Vendor

お客様のニーズに応じたサポートサービス

ハードウェア、ソフトウェアのきめ細かなサポートサービスを提供し、システムの導入から保守、運用までをトータルにサポート。お客様のニーズにあったサービスを豊富なメニューからお選びいただけます。

エントリーサーバ



S1024

Power10

6~24コア

ミッドレンジサーバ



E1050

Power10

12~48コア



S1014

Power10

4コア、8コア

高性能Power®プロセッサを搭載。

■ 信頼性を支える高度な機能

プロセッサの内部状態を常時保持することで、エラー発生時には直前の正しい状態に復元、処理の再開後に障害が続く場合には予備プロセッサに処理を継続させることができる、命令リトライ/リカバリ機能のサポートにより、ソフトエラーによるシステムダウンを回避することができます。また、メモリーはECCやChipkill技術などで、メモリー障害によるシステムダウンの可能性を低減しています。さらに、メインフレーム技術を応用したエラーチェック機能により、障害を即時検出して障害の伝播を抑制するほか、保守センターへ自動通知が可能。障害の迅速な切り分けと原因究明により、スピーディーなシステム復旧を実現します。加えて、動的プロセッサ切り離し機構*1やPCIバス障害回復機能*2など、豊富なRAS機能をサポートしています。

*1 プロセッサの致命的障害を予測した上で当該プロセッサを動的に切り離す機構。
*2 PCIバス障害によるシステムの再立ち上げ処理を回避し、システムの継続運用を実現する機能。
ECC : Error Check and Correct RAS : Reliability, Availability, Serviceability

■ 統合を容易にする拡張性と柔軟性

Power®プロセッサを高速バスに密結合することにより最大48コアのSMP構成に対応し、優れたスケーラビリティを実現します。また、最大960パーティションまでの分割運転に対応する動的論理分割機能(Dynamic LPAR)をサポート。プロセッサ能力の割り当ては最小1/20プロセッサという論理的な単位できめ細かく行え、かつ各パーティションへのハードウェア資源の割り当ては、システムの再立ち上げを行うことなく実現できます。業務内容や処理量に応じて柔軟かつ効率的にシステムリソースを活用できるため、サーバコンソリデーションなどに好適です。

SMP : Symmetric Multiple Processor LPAR : Logical Partitioning

■ 高性能・高信頼なストレージ環境

障害対応機能を強化したファイバチャネルアダプタと専用ドライバにより、日立ディスクアレイシステムと高度に連携。膨大なデータを守り、活用し、管理するための、高性能で高信頼なシステム構築を実現します。

■ 高信頼性を支える多彩なサポートサービス

種類	サービス	サービス内容
サポートサービス	基本サポート	問い合わせ対応、問題解決支援*、改良版提供
	高度サポートオプション群	特別体制配備、システム環境診断、長期保守ほか
テクニカルサービス	システム導入支援	システム導入支援、環境構築支援、HAシステム構築支援
	性能設計支援	プラットフォームの性能チューニング
プラットフォームシステム設計・構築サービス	サーバ設計・構築	Webサーバ、Webアプリケーションサーバ、OLTPサーバ、DBサーバの設計・構築
	性能設計・評価	システムの性能評価
	信頼性設計・構築	HAシステム、Webロードバランスシステムの設計・構築
	運用設計・構築	バックアップシステム、システム稼働管理、ジョブ管理、配布・資産管理、アベイラビリティ、リモート監視の設計・構築
	セキュリティ設計・構築	ファイル不正アクセス防止、セキュリティ診断

*深夜休日を問わず稼働し続けるシステム向けの「24時間週7日対応」と、平日中に稼働するシステム向けの「平日8:00~19:00対応」の2種類から選べます。

社会インフラの中核サーバから拠点のエッジサーバまで、ニーズに応じてお選びいただける多彩なラインアップ

エントリーサーバ EP8000 S1014

最新鋭Power10搭載で、
高度な信頼性とI/O拡張性を実現。
100V電源やタワー筐体をサポートした
8コアエントリーモデル

- 最新鋭Power10を最大8コア搭載。
- 高速大容量メモリーを最大1TiB、SSDを最大102.4TB搭載可能。また、I/Oスロットを10本(ラックマウント)*サポートし、PCI Express 5.0仕様にも準拠。
- 100V電源に対応。また、床置き可能なタワー筐体をサポート。

*周辺装置拡張筐体であるI/Oドローワー接続時



タワーモデル

ラックマウントモデル

エントリーサーバ EP8000 S1024

高速データ転送により、
大容量データ処理に威力を発揮。
クラス最高水準の性能と信頼性に優れた
24コアエントリーモデル

- 最新鋭Power10を最大24コア搭載。エントリークラスでは最高水準の性能を発揮。
- 高速大容量メモリーを最大8TiB、SSDを最大102.4TB搭載可能。また、CUoD機能をサポートし、段階的なリソース増強を稼働時に実施可能。さらに、I/OスロットはPCI Express 5.0仕様にも準拠し、最大30本*と高スペック・高拡張性を実現。
- 電源は2+2の冗長構成。1台の電源に障害が発生しても、冗長構成の維持が可能。

CUoD: Capacity Upgrade on Demand
*周辺装置拡張筐体であるI/Oドローワー接続時



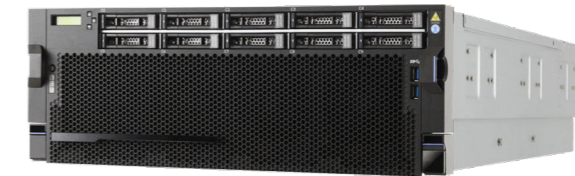
ラックマウントモデル

ミッドレンジサーバ EP8000 E1050

コンパクトなボディに最新鋭プロセッサを高密度に実装。
可用性と拡張性に優れた高信頼ミッドレンジモデル

- 最新鋭Power10を搭載。メモリー暗号化を高速に行う機能をサポート。投機的実行に関する脆弱性への攻撃を緩和する機能の高速化。将来のセキュリティ脅威に備える耐量子暗号にも対応可能。
- コンパクトな4U筐体にプロセッサは最大48コア、メモリーは最大16TiBまで搭載可能。I/OスロットはPCI Express 5.0仕様にも準拠し、最大51本*と高スペック・高拡張性を実現。
- 高信頼・高可用・高保守性に磨きをかけ、CUoD機能、二重化構成、動的フェイルオーバー、活線交換機能などが充実。

*周辺装置拡張筐体であるI/Oドローワー接続時



ラックマウントモデル

ハードウェア基本仕様

モデル	S1014	S1024	
形状	タワー/ラックマウント	ラックマウント	
プロセッサ	名称	Power10	
	クロックレート	3.0GHz(max 3.90GHz)	
	プロセッサ数	タワー:4コア ラックマウント:8コア	
	レベル1キャッシュ*1	命令96KiB + データ64KiB(1コアあたり)	
	レベル2キャッシュ*1	2MiB(1コアあたり)	
メモリー容量	最小~最大*1	32GiB~1,024GiB	
	レベル3キャッシュ*1	8MiB(1コアあたり)	
	ディスク容量	最小~最大*2	
拡張PCIスロット本数(最大)	タワー:PCI Express 5.0(x8)/PCI Express 4.0(x16):1*3 PCI Express 5.0(x8):3*4 PCI Express 4.0(x8):1*3	PCI Express 5.0(x8)/PCI Express 4.0(x16):4*3*7 PCI Express 5.0(x8):4*3*4 PCI Express 4.0(x8):2*3 PCI Express 3.0(x16):8*8 PCI Express 3.0(x8):16*8	
	ラックマウント:PCI Express 5.0(x8)/PCI Express 4.0(x16):1*3*5 PCI Express 5.0(x8):3*3*4 PCI Express 4.0(x8):1*3 PCI Express 3.0(x16):2*6 PCI Express 3.0(x8):4*6		
	外形寸法(W×D×H)	タワー:329×815×522mm ラックマウント:482×712×173mm(4U*9)	482×712×173mm(4U*9)
	電源仕様	電圧	タワー:100~127V(単相) ラックマウント:100~127V/200~240V(単相)
		周波数	50または60Hz
環境仕様	温度条件*10	5~40℃	
	湿度条件(結露不可)	8~85%	
質量(最大)	タワー:47.6kg ラックマウント:42.6kg	42.6kg	
省エネ法に基づく表示(2021年度基準)	区分	7	
	エネルギー消費効率*11	5.7	

*1 1KiB=1,024バイト、1MiB=1,024²バイト、1GiB=1,024³バイト、1TiB=1,024⁴バイトとして計算した数値です。*2 1GB=1,000³バイト、1TB=1,000⁴バイトとして計算した数値です。*3 NVMeディスクベイ1台接続ごとにPCIスロットを1または2スロット消費します。*4 PCIスロットは標準Ethernetアダプタ搭載用に1スロット消費します。*5 I/Oドローワー1台接続時にPCIスロットを1スロット消費します。*6 I/Oドローワー1台接続時の数値です。*7 I/Oドローワー1台接続時にPCIスロットを1または2スロット、I/Oドローワー2台接続時に3スロット消費します。*8 I/Oドローワー2台接続時の占有サイズ(1U:44.45mm)。*9 ラック搭載時の占有サイズ(1U:44.45mm)。*10 温度条件は、装置の入り気温度(サーバの前面部)となります。*11 エネルギー消費効率とは、中央演算処理装置、補助記憶装置および主記憶装置の消費電力あたりの性能を幾何平均して得られる数値です。

ハードウェア基本仕様

モデル	E1050		
形状	ラックマウント		
プロセッサ	名称	Power10	
	クロックレート	3.36GHz(max 4.0GHz)	
	プロセッサ数	12~48コア	
	レベル1キャッシュ*1	命令96KiB + データ64KiB(1コアあたり)	
	レベル2キャッシュ*1	2MiB(1コアあたり)	
メモリー容量	最小~最大*1	256GiB~16,384GiB	
	レベル3キャッシュ*1	8MiB(1コアあたり)	
	ディスク容量	最小~最大*2	
拡張PCIスロット本数(最大)	PCI Express 5.0(x8)/PCI Express 4.0(x16):6*3 PCI Express 5.0(x8):2*3 PCI Express 4.0(x8):3*4 PCI Express 3.0(x16):16*5 PCI Express 3.0(x8):32*5		
	外形寸法(W×D×H)	448×902×175mm(4U*6)	
	電源仕様	電圧	200~240V(単相)
		周波数	50または60Hz
	環境仕様	温度条件*7	5~40℃
湿度条件(結露不可)		8~80%	
質量(最大)	69.0kg		
騒音レベル(LpAm)	65dB*8		
省エネ法に基づく表示(2021年度基準)	区分	9	
	エネルギー消費効率*9	19.0	

*1 1KiB=1,024バイト、1MiB=1,024²バイト、1GiB=1,024³バイト、1TiB=1,024⁴バイトとして計算した数値です。*2 1GB=1,000³バイト、1TB=1,000⁴バイトとして計算した数値です。*3 I/Oドローワー1台接続ごとにPCIスロットを1または2スロット消費します。*4 PCIスロットは標準Ethernetアダプタ搭載用に1スロット消費します。*5 I/Oドローワー4台接続時の数値です。*6 ラック搭載時の占有サイズ(1U:44.45mm)。*7 温度条件は、装置の入り気温度(サーバの前面部)となります。*8 騒音値はISO7779に準拠して次の条件で測定した数値で、環境条件[温度/高度]、装置構成、および装置動作条件により62dBから82dBの間で変化します。測定環境: 環境温度23℃±2℃の半無響室で測定。測定位置: 装置前後左右から各1m、高さ1.5m(4か所)。測定値: 前後左右4点のエネルギー平均値。測定構成: 48コア/2TiBメモリー。装置搭載位置: EIA 15-18

*9 エネルギー消費効率とは、中央演算処理装置、補助記憶装置および主記憶装置の消費電力あたりの性能を幾何平均して得られる数値です。